２学期始業式の話（8 月 25 日（金））

おはようございます。さあ、今日から２学期が始まりました。みなさん元気に夏休みを過ごすことができましたか？

夏休みは楽しかったかなーという人（挙手）、楽しくなかったかなーという人（挙手）、いつもはなかなかできないことに挑戦できたよーという人（挙手）、挑戦はなかなかできなかったよーという人（挙手）。

１学期の終業式の時に少し話しましたが、校長先生が夏休みに挑戦した「大学院に入学するための学習」は、校長室の前に学習した本とノートをしばらく掲示しておきますので、興味のある人は見てみてくださいね。みなさんがこの夏休みに挑戦したことも校長先生や学年の先生に是非教えてくださいね。

みなさんが夏休みの間、毎日本当に暑かったですね。今もまだまだ暑いです。学校の行き帰りも帽子をかぶったり、冷却マフラーをしたりして熱中症などにならないように気をつけましょうね。

この夏休みを振りかえってみると、地域では、久しぶりに光風台のお祭りがありました。ラジオ体操も行われましたね。また、大雨や台風も発生して、こちらの地域にも大きな影響がありました。能勢電車の笹部駅と光風台駅の間で木が倒れるということもありました。また、そのほかの地域では、花火大会やお祭りが４年ぶりに開かれるというものも多くあり、たくさんの参加者でにぎわっていました。

さて、この２学期は、大きな行事として学習発表会を行います。合わせて、低学年・中学年のみなさんは校外学習、高学年のみなさんは宿泊学習があります。また芸術鑑賞会や人権参観などもあります。

そうした行事や毎日の学習の中で、みなさんに大切にしてほしいことがあります。それは、どんな場面でも「自分で考えて、自分で選んで行動して、その行動が自分や周りの仲間たちにとってどうだったかをふりかえること」ということです。

みなさんには自分でいろいろな事を考えたり、行動したりする力があります。その力をいろいろな場面で発揮して、その力をどんどん高めていってほしいのです。でもここで注意しなければならないことがあります。「自分で考えたことだから、自分で選んだことだから、自分で決めたことだから、周りの仲間は関係ないねん。」という考えの人がいます。これは違います。自分で考えたり、選んだり、決めたりすることはすばらしいことですが、それは周りの仲間に認められてはじめてすばらしいと言われるものになります。なぜかというと、みなさんは学級や学校という集団の一員として生活をしているからです。決して、一人でこの世の中を生きているわけではありません。自分勝手な考えや自分勝手な行動は自分一人さえよければいいという考えとつながり、周りの仲間に迷惑がかかってしまいます。

「みなさん一人一人にとって楽しくてたまらない学校」にするためにもこうしたことを大切に、「自分で考えて、自分で選んで行動して、その行動が自分や周りの仲間たちにとってどうだったかをふりかえること」に２学期是非取り組んでみてください。先生方と一緒にがんばりましょう。

これで校長先生のお話を終わります。